

諮問委員会「答申発表会」を開催 ～ 役職員のべ2,116名が参加・視聴 ～

大阪シティ信用金庫（本店 大阪市、理事長 高橋知史）は3月8日（火）～10日（木）の3日間にわたり、諮問委員会の「答申発表会」を本店2階大ホールにて開催しました。

本委員会は、職員が新たな業務への取り組みや経営改善に向け、自由闊達に意見を交わして提案を取りまとめ、答申することを目的に、昭和58年に「各種研究会」としてスタートしました。これまで201のテーマにのべ1,373名の役職員が取り組み、各年度の事業計画に反映してきました。

昨年度と同様、当金庫が直面する経営課題の3つのテーマについて、それぞれ2班、計6班30名の委員が3カ月間議論し、提案をまとめました。発表会は、テーマごとに3日間に分けて開催し、本部の役員、テーマに関連する部署の所属長が参加、各班の委員長からの発表の後、活発な質疑応答が行われました。また、コロナ禍のため、営業店および本部の職員は後日、映像配信形式で発表の様子を視聴しました。

本委員会での意見や提案が金庫経営に積極的に取り入れられることで、職員が刺激を受け成長する場でもあり、今後も継続実施し、業務への実効性が高い委員会にしてまいります。

記

1. 開催日 : 令和4年3月8日（火）～10日（木）
2. 開催場所 : 本店2階大ホール
3. 映像配信日 : 令和4年3月18日（金）～4月14日（木）
4. 参加・視聴者数 : のべ2,116名
5. テーマ : (1) ICTを活用した効率的な得意先活動
(2) DX活用による新たなサービス展開
(3) 新しい人材育成プログラムの構築



各班の委員長による発表



発表者に質問をする高橋理事長（左）

以上



本件はSDGs（持続可能な開発目標）の考えに基づいた取り組みのうち、右記の目標に寄与するものです。

